



北海道開発局

室蘭開発建設部の営業カバンの中味～

胆振・日高地方における11月26日からの暴風雪被害に対する 室蘭開発建設部応援対策本部の活動状況

11月26日(月)からの胆振日高地方における暴風雪と大規模停電では、寒さの中、住民のみなさまには大変ご苦労されたことと思います。

室蘭開発建設部では、被害にあわれているみなさまの一助となるよう、室蘭市や登別市からの要請を受け、照明車の派遣や毛布の提供及び現地情報連絡員(当部職員)の派遣を行うなどのお手伝いをさせていただきましたので、ご紹介させていただきます。

応援対策本部の会議状況



登別市の職員と打合せ

登別市役所での照明車の設置作業



室蘭市でのリエゾン活動方針打合せ



登別市役所での照明車の設置作業



「鉄南ふれあいセンター」に避難している住民の方に当部備蓄毛布を配布



信号機用に貸し出した発動発電機



照明車

今回の大規模停電で活躍した照明車はブーム式といい、発動発電機や電源供給ケーブル、テレビカメラなどが搭載されています。



小笠原登別市長と当部懸塚部長

登別市長から機材返還のときに今回の対応への感謝の言葉をいただきました。

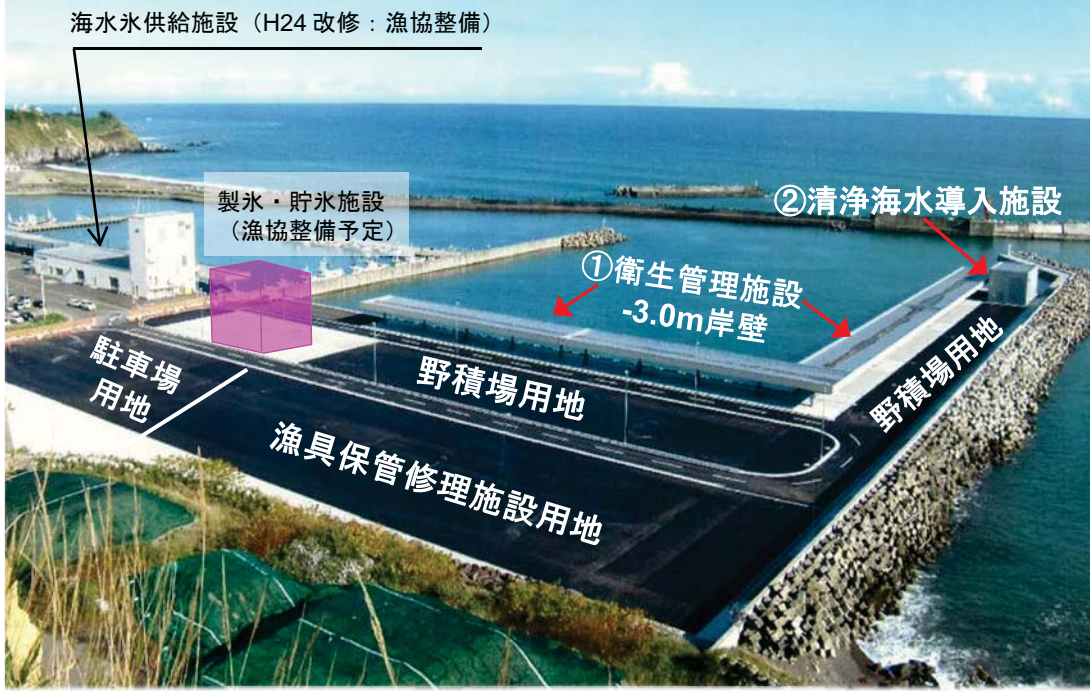


登別漁港 新港地区 供用開始

登別漁港は、平成14年度から第3種漁港[※]として国の直轄事業による整備を進めています。現在、港内の狭隘化解消や衛生管理対策の向上を目的に新港地区の拡張整備を進めており、平成24年10月19日をもって-3.0m岸壁、道路、用地が完成し、11月から利用可能となりました。引き続き、灯台の移設や東防波堤などの平成24年度内完成を目指し、工事を進めています。

※ 第3種漁港～その利用範囲が全国的なもの

平成24年10月5日撮影



①衛生管理施設 -3.0m岸壁

屋根付き岸壁の整備により、鳥害や直射日光による鮮度低下などを防止します。

イメージ写真 (スケソウダラの陸揚げ)



実際の利用状況 (係船の様子)



②清浄海水導入施設

沖合からきれいな海水を汲み取り、岸壁の床洗浄などに利用します。

イメージ写真 (給水の様子)



期待される事業効果

- ◎ 岸壁・用地の拡張により、漁業活動の効率化や生産性が向上します。
- ◎ イカ釣り外来船等に対応した整備により、全国各地からの入港要請への対応が可能になります。
- ◎ 清浄海水導入施設や屋根付き岸壁等の整備により、水産物の鮮度保持による付加価値が向上します。

登別漁港新港地区 供用式典

平成24年10月31日、登別市と白老町にまたがる登別漁港で供用式典が行われ、両自治体や、いぶり中央漁業協同組合などの地元関係者の方々が出席しました。



【発行・編集責任者】北海道開発局室蘭開発建設部 広報官 0143-25-7051 地域振興対策官 0143-25-7053
〒051-8524 室蘭市入江町1番地14 <室蘭開発建設部ホームページ> → <http://www.mr.hkd.mlit.go.jp/>

※今回は号外として、胆振・日高地方における11月26日からの暴風雪被害に対する当部の活動状況と登別漁港新港地区の供用開始について紹介しました。

北海道開発局では、「北海道開発局行政へのご意見・ご要望」メール窓口を開設しており、広く国民・道民の皆さんからのご意見をお聞きしています。詳しくは、こちらをご覧ください。 → http://www.hkd.mlit.go.jp/iken/iken_yobo.html